

令和6年度 とやま新時代創造創造プロジェクト学習推進事業
実施報告書【学校課題実践校用】

学校番号	11
学校名	富山県立富山西高等学校

学校の現状と課題	本校では、「勤労・自治・協和」を校訓とし、「社会や地域の担い手としてふさわしい人格の完成をめざし、全人教育を基礎として、生徒一人一人の能力・適性の伸長と創造的活力の育成に努める」ことを教育目標に掲げている。しかし、高校生活の目標が曖昧なまま入学してくる生徒も多く、個々の生徒の能力・適性、多様な進路志望に応じ、多面的に生徒の諸活動を活かす場を設定し、学校生活に魅力と活力をもたせる工夫が必要である。また、本校は以前から地域との絆を大切にしながら、地域に根ざし、地域から信頼される学校を目指してきた。そこで、ボランティア活動を行うなど、地域と連携した活動を通して、地域を理解し愛着を深めるとともに、生徒自身が社会に役立つことの大切さに気づき、自己有用感を高めていく中で、積極的に社会に参画し、貢献しようとする意欲や態度を育てていくことが求められる。
テーマ(特色)	ボランティアを通した地域交流活動の充実
設定した「テーマ」の達成状況	今年度も、地域の行事や各種ボランティアに積極的に参加するよう全校生徒に呼びかけた。結果的には生徒会や家庭クラブの生徒の参加が中心となったが、参加した生徒は活動や地域の方との交流を通じてその意義を理解し、また社会的支援について深く考えることができた。
実施内容 (具体的に記入する)	・JR高山線速星駅に訪問し、家庭クラブ員が製作した「手作り座布団」を寄贈、設置した。同時に昨年度同様に寄贈、設置した座布団の回収も行った。 ・自治振興会等、速星地区の各種団体と協力して、速星駅周辺の清掃・美化活動を行った。 ・あつつあつ鍋まつりin速星(地域行事)では、模擬店のボランティアに参加するとともに、ダンス同好会がステージでダンスを披露した。 ・特別養護老人ホーム喜寿園へ慰問に訪れ、家庭クラブ員が製作した「巾着袋」を80枚寄付した。
取組による成果 (プロジェクト学習推進の観点から)	・参加した生徒たちは、日頃ただ通り過ぎたり、見逃していたりしていたこの速星地区の地域行事に参加し、また少しではあるが企画や運営に携わる機会をいただいた。その結果、自分の通う高校のある速星地区の一員であることを自覚するとともに、地域を理解し、地域を愛し、地域の未来を考え守っていく必要があると感じたようである。 ・活動を計画する際、皆でアイデアを出し合ったり、作業の進捗状況を見直したりする過程を通して、他者理解や協調性を身につけることができた。この力が、作業の効率化につながり、活動の幅を広げることができた。 ・今年度は十分できなかったが、活動前後に考えたこと、調べたこと、学んだことをまとめ、校内はもちろん外部へ発信できる活動をしていきたい。
対象者(学年・人数など)	各部活動・生徒会執行部・家庭クラブ・ダンス同好会・希望生徒(延べ500名)
実施実績	4月
	5月
	6月
	7月
	8月
	9月
	10月
	11月
	12月
	1月
	2月
	3月